

国際ロータリー第2730地区

# 高鍋ロータリークラブ 会報



会長 坂田 師通  
副会長 青木 善明  
幹事 橋口 清和  
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテル泉屋 2F  
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4  
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

## 第2063回 平成31年4月11日プログラム

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1. 点 鐘                | 7. BOX披露   |
| 2. ロータリーソング<br>四つのテスト | 8. 委員会報告   |
| 3. ビジター・ゲスト紹介         | 9. 外部卓話    |
| 4. 会長の時間              | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告               | 11. 点 鐘    |
| 6. 出席報告               | 12.        |

## 高鍋ロータリークラブテーマ

『ロータリーの心を地域の人に届けよう』

第2730地区ガバナー 川原 篤雄  
中部分区ガバナー補佐 安田 秀一  
RI テーマ 『インスピレーションになろう』  
地区テーマ 『プラスワンの考動を』  
3月の月間テーマ  
水と衛生月間

## 本日の例会案内

- \*血圧測定 \*PETS 報告
- \*外部卓話—児玉健二様
- \*例会終了後プログラム委員会開催

## 次週例会案内; 4月18日 (2064回)

- \*早朝例会  
ロータリー公園清掃 AM7:00~8:00

## 第2062回 例会内容 (4/4)

### ■会長の時間

会長 坂田 師通 君

本日は川端康成の「美の存在と発見」から、以前中学校の国語の教科書に「朝の光の中で」というタイトルで載せられていたエッセイを紹介いたします。

「わたくし、カハラ・ヒルトン・ホテルに滞在して、二月近くなりますが、朝、濱に張り出した放ち出しのテラスの食堂で、片隅の長い板の臺(だい)におきならべた、ガラスのコップの群れが朝の日光にかがやくのを、美しいと、幾度見たこととせう。ガラスのコップがこんなにきらきら光るのを、わたくしはどこでも見たことがありません。やはり日の光が明るく、海の色があざやかであるといふ、南フランス海岸のニスやカンヌでも、南イタリアのソレント半島の海べでも、見たことがありません。カハラ・ヒルトン・ホテルのテラス食堂の、朝のガラスのコップの光りは、常夏の楽園といはれるハワイ、あるひはホノルルの日のかがやき、空の光り、海の色、木々のみどりの、新鮮な印象の一つとして、生涯、わたくしの心にあるだらうと思ひます。」(中略)



「しかしまた、ガラスのコップが朝日にきらめく美しさの発見と感得とを、この時ここで、自分の言葉にとどめておきたいといふ思ひも、わたくしの心行きだったのでせう。どこかよその土地、いつかほかの時間にも、ガラスのコップの、これと似た美しさは、もちろんありますでせう。けれどももしかすると、これとまったく同じ美しさは、よその土地、ほかの時間には、ないかもしれないではありませんか。少なくとも、わたくしはこれまでに見たことはありませんので『一期一会』と言へるかもしれません」

このエッセイは、ノーベル文学賞受賞後、ハワイ大学で東洋学の講義のためハワイに長期滞在していた時に書かれたものだそうです。さすがに大変美しい文章だと思います。

新年度になりました。

皆様の会社では新しい社員の方が入られて、新鮮な気持ちになっておられるかもしれません。

また、新年度になり皆様も何か新しいことにチャレンジされるかもしれません。

もしかしたら、皆様も川端康成が経験したガラスのコップが朝日にきらめく美しさの発見のような一期一会に出会われるかもしれません。特に若い人々が持つ感性は、時にこの「ガラスのコップのきらめき」に似たようなものがあり、それを発見するのも、ある意味で仕事の楽しみではないでしょうか。

<理事会報告 2019. 4. 4>

1. 2019—2020 年度委員会構成表の件 承認
2. 高鍋 RC 明倫賞の件 文書にて推薦状を提出の事
3. 関康仁君の所属委員会の件 親睦活動で承認
4. 河野洋一君、松村悟郎君の退会の件 承認
5. 新富町畜産業 吉田憲市様 入会承認

■幹事報告<文書案内>

幹事 橋口 清和 君

- \*宮崎・宮崎北・宮崎東ロータリークラブ事務局移転案内  
新住所＝宮崎市宮田町 13-8  
田崎ビル(4/19 より)
- \*2019-20 年度のための地区  
研修・協議会のご案内  
日時 2019 年 5 月 12 日 (日)  
9 : 30～15 : 30  
場所 シーガイアコンベンションセンター



■月初めのセレモニー

誕生日おめでとございます。中武君



結婚記念日おめでとございます。

桑野君 多賀君 武末君 長野君 岩切君

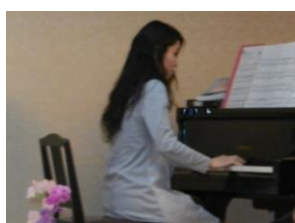


■出席報告

出席副委員長 長野 孝吉 君

(4/4)

正会員総数	40名
出席会員数	31名
ホーム出席率	79.49%
修正出席率	92.31%



■RYLA報告

九州電力高鍋営業所 溝口 のぞみ 様

今回の RYLA では「個と和」を生かすリーダー論・若手リーダーとして自立するために、というテーマが掲げられており、参加者は 38 名。予想以上に大人数での研修に正直驚きました。社会人になると初対面の同年代の人がたくさん集まる場所に行く機会が非常に少ないです。社内では若者向けの研修会や組合活動がありますが、社外の方との出会いは殆どなく、この高鍋町内にもどれだけ合年代の人が暮らしているのかわかりません。そのためこの RYLA では、友達が作れるのか不安と期待で胸を膨らませる新入生のようなフレッシュな気持ちを久しぶりに味わうことが出来ました。



今回の研修の大きな項目は 2 つありました。1 つ目は元プロ野球日本ハムの白井講師による講話、2 つ目は小説「西遊記」の登場人物から理想のリーダー像について考えるグループワークです。白井講師の講話の中で一番印象に残っているのは「なぜヤンキーズは世界一になれるのか」という話です。その答えは「ヤンキーズの選手全員がチームの勝利を目指しているから」というものでした。ヤンキーズでは 2 軍の選手も「目指すは世界一」と答えるそうです。普通なら「いち早く 1 軍選手になって試合で活躍したい」と目の前の目標を掲げがちですが、ヤンキーズの選手は全員「我々はチームの勝利のためにプレイしている」と答えるそうです。選手全員が世界一を目指すことがひとえに 1 軍選手になることや試合につながるというのです。その話を聞いた時、ハッとしました。

私は今、高鍋営業所で法人営業の仕事をしています。法人のお客様を訪問し、お困りごとをお聞いたり、当社のサービスを紹介したりして、たくさんの電力会社の中から九州電力を選んでいただくための仕事をしています。この仕事に就いたばかりの頃の私の目標は、「早くひとりでもお客様訪問が出来るようになること」でした。まさに目の前の目標を掲げていました。もちろん、目の前の目標を 1 つずつ達成していくのも立派なことだと思いますが、組織として掲げるが第一の目標を目指すことで目の前の目標も達成できるということは、私の中で大きな気づきでした。

次にグループワークについてです。今回の課題である小説の西遊記の資料は 30 ページほどあり、かなり読みごたえがありました。7～8 人で成るひと班に資料が 1 冊のみ配布されました。資料が 1 人 1 冊ずつよういされていないことには不満の声が上がりました。確かに全員が各々で読み進めることが出来ないため、不満さはありませんでしたが、私の班ではみんな文句を言いながらも、その不満の感情を共有することで少し一体感が生まれたので、一つの資料を一緒に読ませることで班の仲を更に深めさせたいという意図があったのではないかと私は思いました。グループワークの結果、私の班では、「目標達成を目指して計画を立て」、自ら積極的に行動し周囲を思いやること

が出来る人」が理想のリーダー像という結論ができました。

どの要素も当たり前ようですが、だからこそ重要であり、それを継続することは難しいと思います。普段は目の前の仕事に追われ、今後リーダーを目指すために何をすべきかというのを意識する機会は少ないため、今回の研修でリーダー論の講話を聞いたり、異業種の同年代の人達と理想のリーダーについて考えを深められたことは良い経験になりました。

## ■RYLA報告

### 九州電力高鍋営業所 江藤 聡彦 様

昨年九州電力に入社し、高鍋に赴任した2年目社員です。

会社人生をスタートして日が浅い身ではありますが人生紆余曲折で現在25歳です。

私も3月16日・17日に開催されたロータリー青少年指導者育成プログラム「ライラ」に参加し、大変貴重な経験をさせて頂きました。



正直な気持ちを申し上げますと、最初は「せっかくの土日に、知らない人達と泊りがけで研修か」と不安な気持ちが大きかったです。しかし、実際に研修に参加し、2日目を終えた時、そういった気持ちは一切払拭されていました。それだけ充実した研修でした。

研修最初のカリキュラムは、元日ハムのコーチ白井一幸先生の講演でした。講演を聞く中で私の中で強く意識付けられたのは、スタートを切ることの重要性です。

「目指すことなら今すぐ簡単に始められる」

「考え方を変えることはすぐできる」

白井先生講演の中で何度も仰っていたことです。白井先生は講演中「今から全員日ハムの選手になったつもりで受け答えしてみてください」といったロールプレイをよく挟まれます。そのやり取りはもちろん講演を盛り上げるためという意味合いもあるでしょうが、聴講者がその問いかけに即応できるか試す意味合いもあると感じました。思考を瞬間的に切り替えることの重要性を改めて学びました。先生のお話の中でもう一つ印象だったのは、「30mを全力疾走できるか否か」という話です。人に30mを全力疾走させるとAタイプ・Bタイプの2つに分かれるそうです。Aは、スタートから全力疾走し全力のあまりゴールを通り越してしまう程頑張るタイプ。一方Bは、力を抜いてスタートし、途中から全力を出しゴールきっかりで力を抜くタイプ。白井先生はAタイプの人間を目指すよう私たちに問いかけます。それと同時にスタートダッシュは、目標へたどり着く中で最も労力を使う瞬間だとも仰います。何かを始める時に絶好のスタートダッシュを切れるか、スタートダッシュを切る覚悟が出来るのか、これからの人生の命題であると感じました。

研修のカリキュラムには、グループワークもありました。

内容は西遊記という題材を利用してリーダーシップとは何かを導くワークでした。内容自体も勿論興味深かったのですが、私はグループワークの節々で挟む雑談、交流の機会が高鍋にいるだけでは得難いものだと強く感じま

した。今回の研修では、夜の懇親会等はなく、1日目の夜も2日目の朝もひたすらグループワークに取り組んだのですが、もちろんその途中途中で休憩や食事、入浴を挟み、お互いの職場や現況、今回の研修に対する感想などを話し合う機会が多々ありました。同じ宮崎県にいながら、また同じ年代でありながら、違う業種、違う地域で活動する皆さんと話し合うのは非常に刺激的でした。リーダーシップを養う、リーダーシップに必要なものは何か突き詰めることが今回の研修の大きな目的でありましたが、私個人の意見として、リーダーシップに最も必要な要素の一つは「視野の広さ」であると強く感じました。自分のいる世界から飛びだし、さまざまな業界、環境を見聞き、多様な人々に関わり、広い視野を自分の世界に持ち込む。

それが自分のいる環境を活性化し、リードするきっかけになると感じます。そのめぐり逢いを達成する場が、このロータリークラブであり今回の研修であったと考えます。

私は、去年この九州電力に入社し2年目を迎えます。これから後輩を迎え、リーダーシップを発揮する機会を求められる立場になります。今回少しではありますが広がった視野をその業務に活かすべく頑張りたいと思います。

最後ではありますが、今回このような貴重な場に参加をさせてくれた横山所長、そして場を設けて頂いたロータリークラブ、ローターアクト、ライラ委員会の皆様に厚くお礼の言葉を申し上げます。ありがとうございました。

## ■BOX披露

### 親睦活動委員 板垣 衛 君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

【坂田師通君】九州電力高鍋営業所、溝口さん、江藤さん  
ありがとうございます。

【桑野倫夫君】結婚記念品のお礼として。

【武末喜久治君】結婚記念祝のお返しとして。

【中武泰一郎君】誕生日祝いのお返しとして。

【岩切洋君】結婚記念祝いのお礼として。ありがとうございます。

【長谷川修身君】先週の観桜会多数参加して頂きありがとうございました。平山先生の息子さんが指導する高鍋しんかんチャーには勇気をもらい感動しました。ありがとうございました。

【長野孝吉君】結婚祝いのお礼として。何とか50年もちました。

【多賀学昭君】3月21日ナチュラルサウンズオーケストラの第44回定演無事成功しました。橋口幹事もトロンボーンで参加してくれてありがとう。感謝を込めて。

【横山隆君】今日はライラ参加の報告会、うちの若手2人が発表しますのでよろしくお願ひします。2人とも法人担当業務をしているので皆様の会社にお邪魔するかもしれません。

